

# インバウンド需要に対応したMICE・地方観光人材の育成プログラム 企画調査

高度専門職業人養成機能強化促進委託事業  
シンポジウム  
2018/3/17  
関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科  
山本昭二



## 本事業のあらまし

- インバウンド需要の取り込み
  - 京都、大阪、東京といった大都市や交通の至便な地域でのインバウンド需要
  - 北海道、沖縄などの観光地としての魅力や航空機でのアクセスの良さ
  - その他地域との差が大きく、十分な取り込みができていない
- MICE・国際会議での取り込み
  - 安定的な需要、予測が可能、一人当たりの支出が大きい
  - 他の産業へのインパクトが大きい



## 教育プログラムの意図

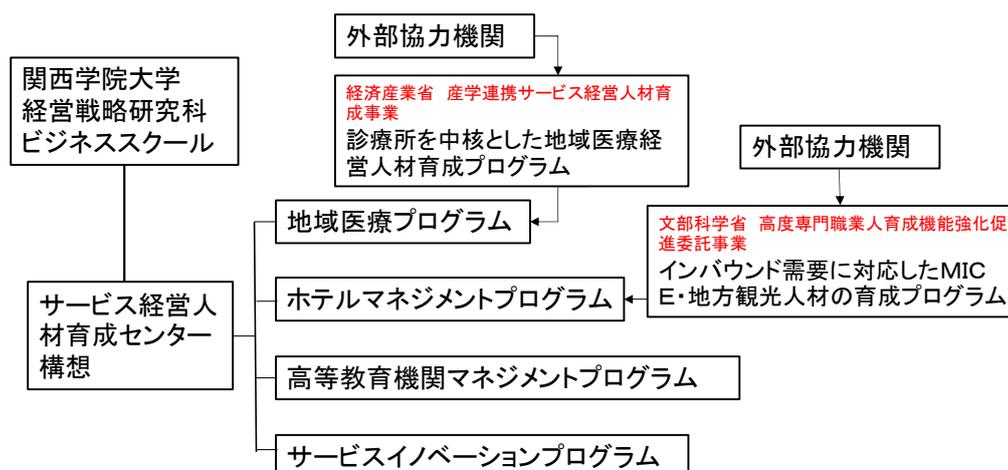
- 地方におけるMICE人材
  - 神戸での実践や日本、世界における実践を習得し実施に移す能力を持つ
  - **ホテルマネジメント、インターシッフ**
  - **サービスマネジメント**
- 地域観光を担えるマネジメント人材
  - サービスイノベーションの基本的な知識を持ち持続的な発展を構想できる
  - **地域観光、ソーシャル・マネジメント**
  - **サービスマーケティング**



KANSAI GAKUIN UNIVERSITY

3

## 実施体制 構想図



KANSAI GAKUIN UNIVERSITY

4

# 実施体制

実施体制図

**プログラム運営委員会**  
 運営委員長 山本昭二  
 委員 佐竹隆幸  
 委員 羽室行信  
 委員 国枝よしみ  
 委員 境田 司

**プログラム検討委員会**  
 委員長 山本昭二  
 委員 国枝よしみ  
 委員 田中祥司  
 委員 境田 司  
 委員 佐藤彰展  
 委員 原 辰徳

**プログラム評価委員会**  
 委員長 佐竹隆幸  
 委員 佐藤侑子  
 委員 安東尚徳  
 委員 竹中 毅  
 委員 安岡正雄

アドバイザー

浦田哲郎  
 水野啓子  
 長田一郎  
 江崎 貴久  
 畦地 履正  
 安岡正雄  
 松下麻理  
 水野啓子  
 米田 晶

講義担当

森藤ちひろ  
 西尾智子



# 委員会の開催等

- ・ **第1回プログラム運営委員会(2017年8月25日)**
  - ・プロジェクトの説明
  - ・意見交換
  - ・今後のスケジュールの確認
- ・ **第2回プログラム運営委員会(2018年3月1日)**
  - ・来年度の活動等について
- ・ **第1回プログラム検討委員会(2017年10月4日)**
  - ・プロジェクトの説明
  - ・調査内容、シラバスについて検討
  - ・パイロット講義の実施について
  - ・今後のスケジュールの確認
- ・ **第2回プログラム検討委員会(2017年12月18日)**
  - ・パイロット講義の実施
  - ・ケース教材の作成状況の確認
  - ・調査分析の使い分析等の確認
- ・ **第1回プログラム評価委員会(2018年2月23日)**
  - ・ケース教材の検討
  - ・パイロット講義の評価



## 基幹産業としての観光

- 全国の「観光地域」における観光関連の事業所（観光産業事業所）の概況
  - ・事業所数 104.3万事業所、従業者数 845万5千人、売上高 90.6兆円
  - ・観光客に対する売上割合：17.5%
- 観光地域経済調査 2012
- 雇用の吸収力→良い水準の高い給与
- 技術革新の利用→ICTやAIを含めた効率化の利用
- グローバル化への対応→海外からの誘客力



## 我が国の観光の現状

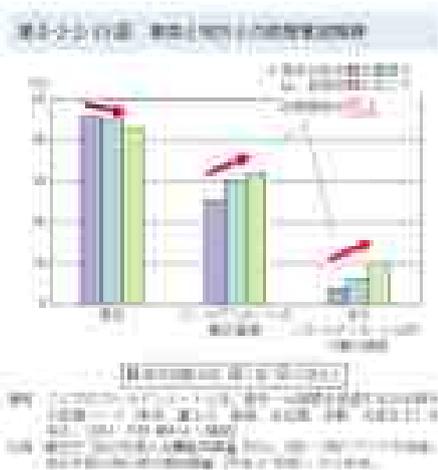


観光は稼げる産業になり得る

2016 通商白書



## 地方での訪問回数の改善が鍵



2016 通商白書



## 日本の国際会議誘致政策

グローバルMICE戦略都市

<都市名>

東京都

横浜市

京都市

神戸市

福岡市

<コンベンションビューロー>

東京観光財団(TCVB)

横浜観光コンベンション・ビューロー(YCVB)

京都文化交流コンベンションビューロー(KCB)

神戸国際観光コンベンション協会

福岡観光コンベンションビューロー

グローバルMICE強化都市

名古屋市、大阪市、札幌市、仙台市、千葉市、広島市、北九州市



国際会議協会



## インバウンド需要とMICE

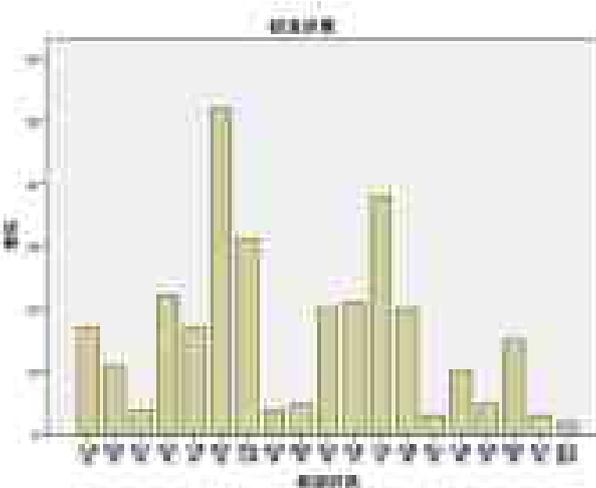
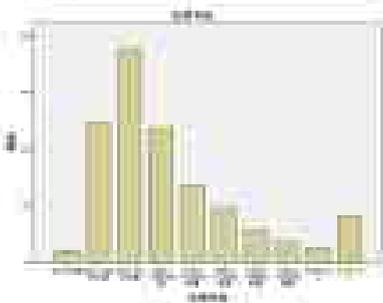
- MICE (Meeting, Incentive, Conference, Exhibition)
  - 各種の会合や催し物、研修等を指す
  - 継続的で計画的な収入が見込める
  - MICEでの来訪客は一般に観光客よりも多くの支出
  - 開催候補地間での誘致競争
    - 国際競争になるので日本の魅力が必要
  - 街の能力が誘致には欠かせない
    - ナイトライフを含めた来訪の楽しみ



## ホテルにおける人材育成調査

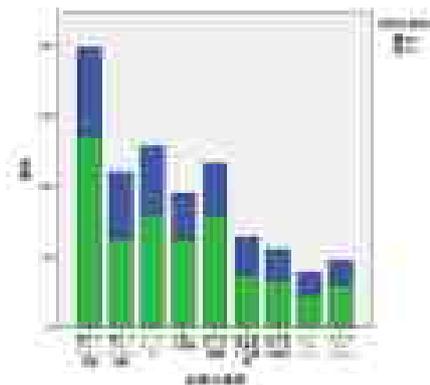
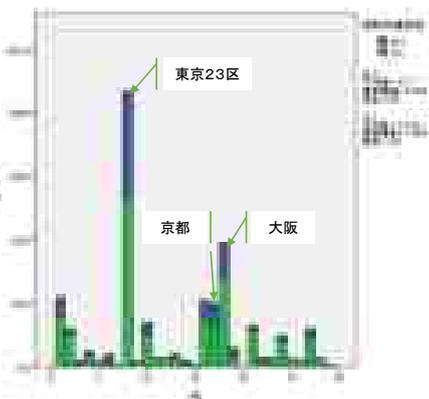
- 主にMICEに対応する人材の育成状況

回答者300名 2017年10月  
 全国:人口50万以上の都市の一定規模以上の宿泊施設に勤めている方



## ホテルにおける人材育成調査

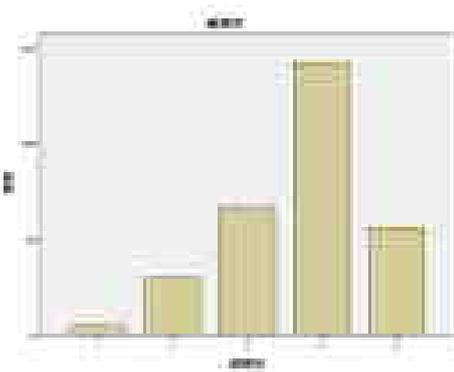
- ・国際会議の実施経験は首都圏と関西が大半



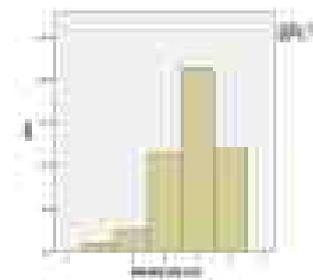
国際会議の実施経験のある回答者は専門人材の育成を考えている



## ホテルにおける人材育成調査

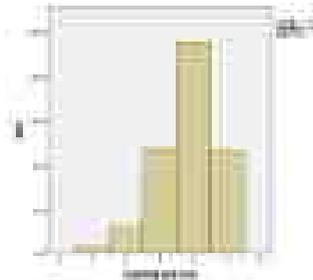


離職率は高いと思う回答が70%



外部・内部での研修の成果は比較的あると考えている。

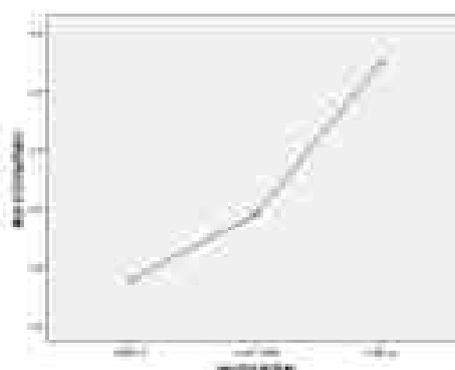
ただし、受けている人は3分の2程度



## ホテルにおける人材育成調査



自治体との連携の必要性



主催者満足度の重要性を理解できるのは実施回数の多い施設に勤めている回答者



## 作成プログラムとケース教材

科目群	科目名	単位数	必要取得単位数
基礎科目	経営戦略	1	0~4単位
	マーケティング	1	
	人的資源とキャリア開発	1	
	会計・財務諸表	1	
	サービス・マーケティング	2	
発展科目	サービス・マネジメント	2	2~6単位
	管理会計	2	
	組織管理	2	
	情報システム	2	
	ソーシャル・マネジメント	2	
先端科目	ホテルマネジメント	2	4~6単位
	地域観光	2	
	インターンシップ	2	
	インターンシップ	2	

網掛け部分は今回企画、開発する科目  
12単位以上で履修証明書が授与される

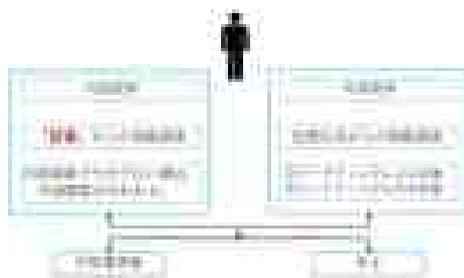
ケース教材:6本のケース教材の作成←国内地方観光×2、ホテルマネジメント×2、海外地域観光、サービスイノベーション事例



# パイロット講義1

## ・地域観光（2017年12月13日）

- ・テーマ:旅行者行動
- ・旅行者の実際の選択行動を通して旅程等を計画、購買、経験した様子を分析する。



# パイロット講義1

## 受講者の評価など

- ・10数年ぶりのMBA授業に参加し、大変刺激的でした。また勉強したくなりました。
- ・今、RESASなど使って地域のプロモーションの方向性をみつけようとしていますが、やはり個人の意思決定や心理をきちんと調べないと大きな統計情報だけではうまくいかないと思いました。
- ・勉強させていただきました。もう少し時間があるとさらに良いと思います。
- ・IBAのプログラムに属することになるのでしょうか？
- ・すばらしいと思いました。紙のうすさと重さについてのお話がおもしろいと思いました。もちろん色とInfoとのこともあるのではないかと思うこともある。ロゴの大きさ。AirAsiaのロゴが大きくてリストの上にある。ある意味ハワイっぽいイメージの赤。沖縄のハイビスカスとかの色→赤。マークの形も「X」で決めやすい。

全体に高評価であったので、ケース教材の再検討を通して、海外の消費者の意思決定過程の実態調査なども必要であると考えられる。講義での分析に耐えられるようなデータの収集が望まれる。

## パイロット講義2

- ホテルマネジメント 2018年1月26日
  - テーマ:MICEを基軸としたホテル経営
  - 神戸ポートピアホテルの実践を学ぶことで、MICE特に国際会議の誘致に関してどのような成果が見込まれるのかを学ぶ。メディカルコンベンション誘致への体制作りの過程など。

日次	時間	内容
1日	10:00-12:00	国際会議に際して留意すべき事項を説明する。
2日	10:00-12:00	国際会議で必要となることにより、ホテル側で準備すべき事項
3日	10:00-12:00	ホテル側で準備すべき事項を説明する。
4日	10:00-12:00	国際会議の誘致に際しての課題から、国際会議の誘致に際しての体制作りの過程など。
5日	10:00-12:00	国際会議の誘致に際しての体制作りの過程など。
6日	10:00-12:00	国際会議の誘致に際しての体制作りの過程など。

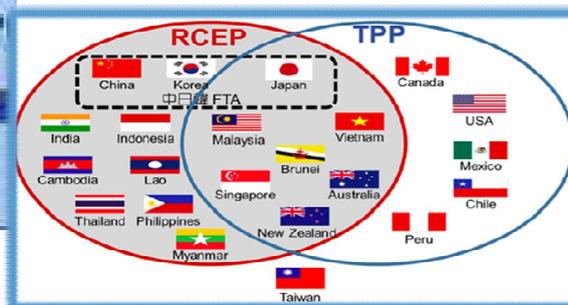


KANSAI GAKUIN UNIVERSITY

19

## パイロット講義2

### 東アジアの自由貿易と経済連携に関する日本政府主催の会合 第17回東アジア地域包括的経済連携 (RCEP) 交渉会合



KANSAI GAKUIN UNIVERSITY

20

## パイロット講義2

### 受講者の評価など

- ・内容が充実している。
- ・内側の事情を思い切って出されることは素晴らしいですね。理念的なものは経営品質のケースにあるとのこと、読んでみたいです。
- ・具体的な誘致活動(成功事例)が聞きたかった。

直近の事例とこれからの成果が見込まれる部分なのでどこまで踏み込んで議論ができるのかがやや限界があったと思われる。今回は、部分的な内容だったのもう一本(経営品質のケース)と併せて来年度に再度パイロット講義を開催したい。



21

## 開発ケース概要1

### ■「ホテル・マネジメント」 テーマ：神戸ポートピアホテルの経営戦略

#### 【ケース概要】

1981年3月に、神戸ポートピア博の開催に合わせて開業した神戸ポートピアホテルは、当初からコンベンションの中心に置いたユニークなホテルとして開業した。創業者の中内力氏はアメリカのホテルをつぶさに検討して、神戸市にコンベンションホテルのアイデアを提示しそれが実現した。その後順調に発展を遂げていたが、バブル崩壊と1995年の阪神淡路大震災により神戸市内のホテルも営業停止の状況に陥った。神戸ポートピアホテルはそのような中でも独自で1500人規模のホールの設置を行い、神戸再興を目指して新たな挑戦を続けている。本ケースでは3代目社長の中内仁氏がホールの設置を決断し、関西経営品質賞を受賞する過程で組織改革、意思決定の仕組みの構築を行う様子を理解する。ホテル業のマネジメントにおける幾つかの問題を取り上げて、実践的にその問題に取り組む様子を検討する。戦略策定からその実施までの総合的なケースになっている。

### ■「ホテル・マネジメント」 テーマ：神戸ポートピアホテルのMICE戦略

#### 【ケース概要】

1981年3月開業の神戸ポートピアホテルは、コンベンションホテルという当時の日本では斬新なアイデア採り入れ中内力氏によって創業された。現在は、増設した南館とポートピアホールを合わせて、客室数744室を誇る神戸市最大のホテルである。震災後の神戸市は「神戸医療産業都市構想」を打ち出し、同ホテルもメディカルコンベンションに焦点を当てた誘致活動を行ってきた。2016年4月、神戸市と一体運営を目指して「神戸コンベンションコンソーシアム」が組成され、周辺施設と一体となった運営を目指している。本ケースでは、コンベンションの誘致、企画、実施等の全てにおいて社内外の組織がどの様に連携をしながら主催者や参加者に対してサービスを提供し、成果を上げているかを学ぶ。その上で、同ホテルが抱える様々な問題について当事者とともに検討する。



22

## 開発ケース概要2

### ■「ソーシャル・マネジメント」 テーマ：奈良県吉野郡吉野 【ケース概要】

奈良県吉野郡吉野町は、吉野山を含む「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登録されている地域であり、「日本で最も美しい村」連合にも加盟している。また、吉野杉や吉野葛など名産品や歴史建造物などの様々な観光資源を有している。しかし、深刻な少子高齢化や人口減少のため、インバウンドを強化できる担い手が不足し、買い物難民や空き家など解決すべき課題が山積している。本ケースは、町長、役場職員、町議会議員、森林セラピーや古民家再生に取り組む地域住民、地域おこし協力隊など地域のステークホルダーへの取材をもとに、行政と住民のこれまでの活動とその成果、現状の課題を記述している。元気な高齢者の参画を促し地域コミュニティを復活させ、観光地としての価値と地域住民の活路を見出すためにはどのような方策があるのだろうか。本ケースでは、今後日本に増えると予想される限界集落の共通課題を取り扱い、地域特性を生かした地域創生に関わるマネジメントについて議論する。

### ■「地域観光」 テーマ：株式会社四万十ドラマ 【ケース概要】

株式会社四万十ドラマは、高知県西部を流れる四万十川中流域を拠点として活動する地域商社である。地域商社とは、地域経済を活性化するために特産品はじめ観光資源なども含めて地域を丸ごと国内外に売り込む企業や団体のことをいう。同社は、栗や茶等の四万十の農産品の出口（販路）を開拓し、納品形態に合わせた簡単な加工を地域内で行うことで、産業を興し雇用を創出し、四万十の産品をブランド化することによって地域振興のけん引役を担ってきた。四万十ドラマのこれまでの活動が評価され、2006年度には農林水産省「立ち上がる農山漁村」に認定、以来、数々の賞を受賞し、地域振興の先進地として認められている。本ケースでは、人口約2,700人（2017年6月末現在）の中山間地域に産業を興し、年間約15万人を呼び込む四万十ドラマの事例から、地域振興の中心であると同時に地方観光の核となる組織のマネジメントについて実践的な課題を検討する。



## 開発ケース概要3

### ■「地域観光」 テーマ：山陰インバウンド機構 【ケース概要】

山陰インバウンド機構は、「観光地経営」の視点に立った地域づくりの舵取り役を担う日本版DMOとして登録された法人である。山陰エリア（鳥取県・島根県）における観光ブランドの構築、データマーケティング、海外に向けた山陰の観光情報の発信など観光振興に取り組んでいる。広域観光周遊ルート形成計画についても認定され、外国人誘客への取組みを進めている。一方、観光地づくりに関する多様な関係者の合意形成やデータマーケティング戦略の策定、KPIの設定・PDCAサイクルの確立など、日本版DMO登録要件を維持するための継続的な取組みが求められている。2020年に山陰両県の外国人延べ宿泊者数40万人泊（現状の2.7倍）になると予想。他にも観光資源の磨き上げや受け入れの環境整備、将来的な安定的資源の確保など解決すべき問題もある。本機構では、山陰インバウンド機構を取り巻く様々な課題を考慮しながら観光地経営に資する意思決定について議論を行う。

### ■「地域観光」 テーマ：モンサンミッシェル 【ケース概要】

モン・サン・ミッシェルは、サン・マロ湾に浮かぶ岩山に建てられた礼拝堂から発展した巡礼地である。モン・サン・ミッシェルを囲む小さな湾にはクエノン川、セリュヌ川、セー川の3本の川が流れ込んで堆積した砂が砂州を形成しているが、1879年にカゼルヌからモン・サン・ミッシェルまでの約2kmにわたって道路が建設された結果、川の流れが河口近くで弱まってしまい、クエノン川が砂で埋まり始めた。道路建設から100年後には2mの砂が湾内に堆積し、「2040年頃にはモン・サン・ミッシェルの周囲は砂で埋まってしまう」という専門家の見解が示された。観光業を国の重要な産業として位置づけているフランス政府は、EUおよびノルマンディー地域圏、ブルターニュ地域圏と共同で、モン・サン・ミッシェル湾の再開発プロジェクトを立ち上げた。本ケースでは、モン・サン・ミッシェルが取り組んだ修景事業が、持続可能な観光開路であると同時に、観光地のブランド価値および観光の経験品質を向上させる一つの手法であることを示し、他地域への応用可能性について考察する。



## インターシップとeラーニング

- インターンシップを3月に3日間で実施
  - 神戸ポートピアホテルで社長もプレゼンに同席
  - 来年度の実施に当たっての知見
  - より構造化された授業と教材の追加
  - 特に転職希望者を中心に
- 内閣府の地方創生カレッジで神戸ポートピアホテルの事例が取り上げられる。  
4月以降に公開される予定。



25

## サービス化の進展と標準の役割

- 今年後半に予定されているJIS法の改訂
  - サービスにも標準を設定
  - 多くのサービス業が守るべき基準を設定することで製造業を含めた社会システムを効率化
- 働く人々と地域を守る
  - テクノロジーの利用範囲や対象を社会システムの中で考える→サービス企業の更なる効率化と従業員のQOLの改善
  - 地域における企業間の連携をより進めることを目的とする



26

ご清聴ありがとうございました



平成29年度高度専門職業人養成機能強化促進委託事業  
山口大学・京都大学合同シンポジウムシンポジウム

地方創生推進のための  
経営系専門職大学院機能強化事業  
～メディア・コンテンツ活用、国際化、  
ポストMBAプログラム、ケースメソッドを軸に～

香川大学大学院地域マネジメント研究科

日時：平成30年3月17日（土）13:00～17:00

場所：山口大学常盤キャンパスD棟D11会議室

文部科学省平成29年度  
高度専門職業人養成機能強化促進委託事業

テーマ

地方創生推進のための経営系専門職大学院機能強化事業  
～メディア・コンテンツ活用、国際化、ポストMBAプログラム、  
ケースメソッドを軸に～

目的

本事業は、香川大学大学院地域マネジメント研究科（以下、研究科）が、平成16年（2004年）の設立以来、地域活性化に貢献する実践的経営人材の育成をミッションとして取り組み13年間で382名の修了生を輩出して来た実績を踏まえ、地方国立大学に期待される地方創生への役割に応えるための経営系専門職大学院の機能強化を趣旨として、地方創生推進のための教育プログラムの開発を行うことを目的とする。

## 達成事項と残された課題・地域からの要望

達成事項	残された課題・地域からの要望
1) 創設後13年間の実績 2) 常に2学年60名定員を充足 300名を越す修了生 学生バックグラウンドの多様化 職場では得られない ネットワーキング機会 3) 産学官連携の取り組みの進展 アドバイザリーボード会議 4) 経済団体による提供講義、 5) 公式非公式による人材育成と協働 のための多様な場の提供 香川ビジ ネス&パブリックコンペなど	1) 活動の効果的情報発信 2) 地域活性化のための国際化 3) 修了生の活動支援 4) 地域の大きな方向性を示す産学官 共同研究 5) 点在する地域活性化の取組みを束 ね、持続可能なビジネスに練り上げる 役割

## 地方創生のための経営人材育成強化 ～4つのプログラム開発～

メディア・コンテ  
ツ活用人材教育プ  
ログラム

国際ビジネス研修プ  
ログラム

四国型地域マネジメ  
ント・ケースメソ  
ッド教育

ポストMBAプログラ  
ム

## 四国型地域マネジメント・ケースメソッド教育

【目的】多様で複雑な地方創生の課題の本質を見極め解決策を探索できる経営人材育成のためのケースメソッド教育プログラムの開発

【必要性】ケースメソッドはハーバード大で100年以上前に開発され、慶応大学が本格的に導入したが、地方創生や地域活性化の領域のケース、ケースメソッドは十分に開発されていない。

【事業内容】地域マネジメント研究科で実施している四国経済事情四国における実務家非常勤講師の授業を活用し、実際の地域政策、地域ビジネス、地域資源活用の実例を元にしたケースを作成し、「四国型地域マネジメント・ケースメソッド」として教育プログラムを開発する。平成30年度以降の正規MBA授業での本実施に向けた準備・検討を行う。

【期待される効果】地域での問題発見・分析能力、意思決定能力、等を身に付け、地方創生に貢献することが期待される。

## 四国型地域マネジメント実践プロジェクト ～ケースメソッドを用いた試み～

《ねらい》本研究科修了生(四国をフィールドに活動、地域活性化に興味関心)を対象に、日頃の活動で直面する「社会課題」に着目し、ケースメソッドを学びながら「社会課題」「地域創生」の議論(課題解決策の検討など)を重ね、「ケース教材(教育プログラム)」をデザインする。

《参加者》本研究科修了生12名 + 本研究科教員3名

《講師》徳島文理大学 教授 竹内 伸一氏

《日時》第1回10月23日(月)、第2回11月6日(月)、第3回11月13日(月)、第4回11月27日(月)  
いずれも18:20～21:30

続編として 第5回12月18日(月)、第6回1月15日(月)18:30～21:30 (上記修了生内7名+教員3名)

《場所》香川大学研究交流棟5階

《内容》「ケースメソッド教授法」講義、グループ作業(討議、発表)、全体討議等



## 「四国型ケースメソッド」開発に向けて

### 「地域マネジメント」のケース要件

1. 地域における「見えにくいもの」が見えてくる
  - ケースを読むことで見えてくるものがある => 知ることには価値がある
  - ケースを議論することで見えてくる => 考えることに価値

=> 複数の立場、視点が含まれている
2. 地域における「新しい動き」が含まれている
  - => 「新しい動き」をエンカレッジ(促進)する意味がある
3. 四国にある「資源」、四国固有の「問題」「難しさ」に着目している
4. 地域マネジメントの課題として普遍性がある
  - => 他の地域への転用、応用ができる
5. 問題をありありと描くよりも、未熟でも構わないので何らかの問題解決行動がある
  - => 問題解決行動を議論、評価ができる
  - => 複数の問題解決策から試行錯誤で選択している
6. 地域マネジメント研究科の研究・教育の成果と言えるものがある  
とよい

#### 「地域マネジメント」とは？

- 地域が、地域の課題に気づき、多面的に捉える(客観性、普遍性)
- 地域が、その課題の解決に向けて、主体的に取り組む
- その際、地域内外の資源を、地域に適した形で活用する
- ただし、地域には次の状況が存在する
  1. 決定的な意思決定者(主体)が存在しない
  2. それ故、関係者間の合意形成では納得性が重要となる
  3. 関係者が保有・共有する情報は不完全である

### 4テーマ(4チームに分かれて作業)

1. シビックプライドの醸成に向けて: 任意団体「シビックプライド高松」の軌跡と今後の可能性
2. 四国の空き家問題の解決策から移住促進を考える: 空き家と地方志向の都会人のマッチング
3. 相談援助従事者の支援ネットワークのあり方: 支援者が生み出す狭間と障壁について考える
4. 社会参加を諦めている高齢者がまちに出ることで地域を活性化: 青年療法士まちづくり塾の取り組み



## 「地域マネジメント」ケース教材 7本 完成に向けて進行中

- ケース本文 + ティーチングノート
  - 1. 四国の空き家問題 — 思い出にけりをつけた人、つけなかった人 —
  - 2. 地域活性化を願う地域産品の開発とその顛末
  - 3. 相談援助従事者の支援ネットワークのあり方 — 支援者の思いが生み出す狭間を考える —
  - 4. 先生、なんで辞めちゃうの? — 保育士の離職原因について —
  - 5. 一般社団法人ソシオデザイン — 徳島県上勝町における起業家育成 —
  - 6. シビックプライドの醸成
  - 7. 三木町新開地区の大獅子 — 地域の排他性と、寛容性 —
- 今後の予定
    - 2月末日 ケース提出 締め切り
    - 3月上旬～中旬 ケース原稿 校正
    - 3月下旬 報告書(印刷) 完成
    - 次年度 ケースメソッドをトライアル ※希望者を募り公開講座あるいはWS形式で



## ポストMBAプログラム

【目的】地方創生のために地域マネジメント研究科の修了生の継続学習、実践的取組みの支援

【必要性】地域マネジメント研究科の修了生から、プロジェクト研究の内容を継続し具体化したい。職場で新たな課題に取り組んでいるが、地域マネジメント研究科と関係をもってさらに学習し、教員の助言を得て進めたいという要望が寄せられている。

【事業内容】上記の修了生の要望に応える博士課程に替わる新たな「ポストMBAプログラム」の構築に向けて、修了生から研究テーマを公募して、試験的に運用し、望ましいプログラムのあり方を検討する。平成30年度以降の本実施に向けた準備・制度設計検討を行う。

【期待される効果】実務家である修了生の取組みを支援するプログラムにより、地域創生の実行力を身に付けるとともに、魅力ある雇用機会の創出等の地方創生の成果がもたらされることが期待される。

## ポストMBAプログラム

- 教員を通じた公募 2017年8月21日締切
- 5件採択

五色台における互助のまちづくり:子ども、高齢者、観光客の結びつきに着目して

世界のSAKEマーケットを視野に地域性を付加価値とした酒蔵経営に関する研究

香川とアルメニアの国際的ビジネス・文化交流促進による双方向地域活性化プロジェクト

離別・別居家庭の「子の監護」に関する総合的支援事業

地域住民が作る地域活性化のためのPR動画プロジェクト

## ポストMBAプログラム取組み事例1

「五色台における互助のまちづくり  
～子ども、高齢者、観光客の結びつきに着目して～」石浜 実花



### 事業目的



### 実施方法

- ①地域の課題を抽出し、抽出した課題を整理し、優先順位を付ける。
- ②抽出した課題を優先順位の高い順に解決策を模索し、解決策を優先順位の高い順に実施する。
- ③解決策を実施し、課題の解決を確認し、課題の解決策を他の課題に活用する。

### 事業計画のプロセス

- ① 地域課題の抽出から、課題の整理を行う。課題の整理は、課題の抽出から課題の整理までを行う。
- ② 抽出した課題を優先順位の高い順に解決策を模索し、解決策を優先順位の高い順に実施する。
- ③ 解決策を実施し、課題の解決を確認し、課題の解決策を他の課題に活用する。



しかし、苦勞の連続でした。

### 対話することの難しさ

対話（ダイアログ）が本質的な価値  
対話によって相互理解が生まれ、結果としてお互いから実行力を生み出すことができる。

ダイアログのゴール  
対話の目的は相互理解が目的である。  
相互理解が目的であるため、結果としてお互いから実行力を生み出すことができる。  
結果を出すのではなく、相互理解を目的とする。

対話を通して話し合われたことが正しいとは限らない。

五色台は福祉のまちづくり、事業受けてははたかた  
① ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ㏀ ㏁ ㏂ ㏃ ㏄ ㏅ ㏆ ㏇ ㏈ ㏉ ㏊ ㏋ ㏌ ㏍ ㏎ ㏏ ㏐ ㏑ ㏒ ㏓ ㏔ ㏕ ㏖ ㏗ ㏘ ㏙ ㏚ ㏛ ㏜ ㏝ ㏞ ㏟ ㏠ ㏡ ㏢ ㏣ ㏤ ㏥ ㏦ ㏧ ㏨ ㏩ ㏪ ㏫ ㏬ ㏭ ㏮ ㏯ ㏰ ㏱ ㏲ ㏳ ㏴ ㏵ ㏶ ㏷ ㏸ ㏹ ㏺ ㏻ ㏼ ㏽ ㏾ ㏿ 㐀 㐁 㐂 㐃 㐄 㐅 㐆 㐇 㐈 㐉 㐊 㐋 㐌 㐍 㐎 㐏 㐐 㐑 㐒 㐓 㐔 㐕 㐖 㐗 㐘 㐙 㐚 㐛 㐜 㐝 㐞 㐟 㐠 㐡 㐢 㐣 㐤 㐥 㐦 㐧 㐨 㐩 㐪 㐫 㐬 㐭 㐮 㐯 㐰 㐱 㐲 㐳 㐴 㐵 㐶 㐷 㐸 㐹 㐺 㐻 㐼 㐽 㐾 㐿 㑀 㑁 㑂 㑃 㑄 㑅 㑆 㑇 㑈 㑉 㑊 㑋 㑌 㑍 㑎 㑏 㑐 㑑 㑒 㑓 㑔 㑕 㑖 㑗 㑘 㑙 㑚 㑛 㑜 㑝 㑞 㑟 㑠 㑡 㑢 㑣 㑤 㑥 㑦 㑧 㑨 㑩 㑪 㑫 㑬 㑭 㑮 㑯 㑰 㑱 㑲 㑳 㑴 㑵 㑶 㑷 㑸 㑹 㑺 㑻 㑼 㑽 㑾 㑿 㒀 㒁 㒂 㒃 㒄 㒅 㒆 㒇 㒈 㒉 㒊 㒋 㒌 㒍 㒎 㒏 㒐 㒑 㒒 㒓 㒔 㒕 㒖 㒗 㒘 㒙 㒚 㒛 㒜 㒝 㒞 㒟 㒠 㒡 㒢 㒣 㒤 㒥 㒦 㒧 㒨 㒩 㒪 㒫 㒬 㒭 㒮 㒯 㒰 㒱 㒲 㒳 㒴 㒵 㒶 㒷 㒸 㒹 㒺 㒻 㒼 㒽 㒾 㒿 㓀 㓁 㓂 㓃 㓄 㓅 㓆 㓇 㓈 㓉 㓊 㓋 㓌 㓍 㓎 㓏 㓐 㓑 㓒 㓓 㓔 㓕 㓖 㓗 㓘 㓙 㓚 㓛 㓜 㓝 㓞 㓟 㓠 㓡 㓢 㓣 㓤 㓥 㓦 㓧 㓨 㓩 㓪 㓫 㓬 㓭 㓮 㓯 㓰 㓱 㓲 㓳 㓴 㓵 㓶 㓷 㓸 㓹 㓺 㓻 㓼 㓽 㓾 㓿 㔀 㔁 㔂 㔃 㔄 㔅 㔆 㔇 㔈 㔉 㔊 㔋 㔌 㔍 㔎 㔏 㔐 㔑 㔒 㔓 㔔 㔕 㔖 㔗 㔘 㔙 㔚 㔛 㔜 㔝 㔞 㔟 㔠 㔡 㔢 㔣 㔤 㔥 㔦 㔧 㔨 㔩 㔪 㔫 㔬 㔭 㔮 㔯 㔰 㔱 㔲 㔳 㔴 㔵 㔶 㔷 㔸 㔹 㔺 㔻 㔼 㔽 㔾 㔿 㕀 㕁 㕂 㕃 㕄 㕅 㕆 㕇 㕈 㕉 㕊 㕋 㕌 㕍 㕎 㕏 㕐 㕑 㕒 㕓 㕔 㕕 㕖 㕗 㕘 㕙 㕚 㕛 㕜 㕝 㕞 㕟 㕠 㕡 㕢 㕣 㕤 㕥 㕦 㕧 㕨 㕩 㕪 㕫 㕬 㕭 㕮 㕯 㕰 㕱 㕲 㕳 㕴 㕵 㕶 㕷 㕸 㕹 㕺 㕻 㕼 㕽 㕾 㕿 㖀 㖁 㖂 㖃 㖄 㖅 㖆 㖇 㖈 㖉 㖊 㖋 㖌 㖍 㖎 㖏 㖐 㖑 㖒 㖓 㖔 㖕 㖖 㖗 㖘 㖙 㖚 㖛 㖜 㖝 㖞 㖟 㖠 㖡 㖢 㖣 㖤 㖥 㖦 㖧 㖨 㖩 㖪 㖫 㖬 㖭 㖮 㖯 㖰 㖱 㖲 㖳 㖴 㖵 㖶 㖷 㖸 㖹 㖺 㖻 㖼 㖽 㖾 㖿 㗀 㗁 㗂 㗃 㗄 㗅 㗆 㗇 㗈 㗉 㗊 㗋 㗌 㗍 㗎 㗏 㗐 㗑 㗒 㗓 㗔 㗕 㗖 㗗 㗘 㗙 㗚 㗛 㗜 㗝 㗞 㗟 㗠 㗡 㗢 㗣 㗤 㗥 㗦 㗧 㗨 㗩 㗪 㗫 㗬 㗭 㗮 㗯 㗰 㗱 㗲 㗳 㗴 㗵 㗶 㗷 㗸 㗹 㗺 㗻 㗼 㗽 㗾 㗿 㘀 㘁 㘂 㘃 㘄 㘅 㘆 㘇 㘈 㘉 㘊 㘋 㘌 㘍 㘎 㘏 㘐 㘑 㘒 㘓 㘔 㘕 㘖 㘗 㘘 㘙 㘚 㘛 㘜 㘝 㘞 㘟 㘠 㘡 㘢 㘣 㘤 㘥 㘦 㘧 㘨 㘩 㘪 㘫 㘬 㘭 㘮 㘯 㘰 㘱 㘲 㘳 㘴 㘵 㘶 㘷 㘸 㘹 㘺 㘻 㘼 㘽 㘾 㘿 㙀 㙁 㙂 㙃 㙄 㙅 㙆 㙇 㙈 㙉 㙊 㙋 㙌 㙍 㙎 㙏 㙐 㙑 㙒 㙓 㙔 㙕 㙖 㙗 㙘 㙙 㙚 㙛 㙜 㙝 㙞 㙟 㙠 㙡 㙢 㙣 㙤 㙥 㙦 㙧 㙨 㙩 㙪 㙫 㙬 㙭 㙮 㙯 㙰 㙱 㙲 㙳 㙴 㙵 㙶 㙷 㙸 㙹 㙺 㙻 㙼 㙽 㙾 㙿 㚀 㚁 㚂 㚃 㚄 㚅 㚆 㚇 㚈 㚉 㚊 㚋 㚌 㚍 㚎 㚏 㚐 㚑 㚒 㚓 㚔 㚕 㚖 㚗 㚘 㚙 㚚 㚛 㚜 㚝 㚞 㚟 㚠 㚡 㚢 㚣 㚤 㚥 㚦 㚧 㚨 㚩 㚪 㚫 㚬 㚭 㚮 㚯 㚰 㚱 㚲 㚳 㚴 㚵 㚶 㚷 㚸 㚹 㚺 㚻 㚼 㚽 㚾 㚿 㞀 㞁 㞂 㞃 㞄 㞅 㞆 㞇 㞈 㞉 㞊 㞋 㞌 㞍 㞎 㞏 㞐 㞑 㞒 㞓 㞔 㞕 㞖 㞗 㞘 㞙 㞚 㞛 㞜 㞝 㞞 㞟 㞠 㞡 㞢 㞣 㞤 㞥 㞦 㞧 㞨 㞩 㞪 㞫 㞬 㞭 㞮 㞯 㞰 㞱 㞲 㞳 㞴 㞵 㞶 㞷 㞸 㞹 㞺 㞻 㞼 㞽 㞾 㞿 㟀 㟁 㟂 㟃 㟄 㟅 㟆 㟇 㟈 㟉 㟊 㟋 㟌 㟍 㟎 㟏 㟐 㟑 㟒 㟓 㟔 㟕 㟖 㟗 㟘 㟙 㟚 㟛 㟜 㟝 㟞 㟟 㟠 㟡 㟢 㟣 㟤 㟥 㟦 㟧 㟨 㟩 㟪 㟫 㟬 㟭 㟮 㟯 㟰 㟱 㟲 㟳 㟴 㟵 㟶 㟷 㟸 㟹 㟺 㟻 㟼 㟽 㟾 㟿 㠀 㠁 㠂 㠃 㠄 㠅 㠆 㠇 㠈 㠉 㠊 㠋 㠌 㠍 㠎 㠏 㠐 㠑 㠒 㠓 㠔 㠕 㠖 㠗 㠘 㠙 㠚 㠛 㠜 㠝 㠞 㠟 㠠 㠡 㠢 㠣 㠤 㠥 㠦 㠧 㠨 㠩 㠪 㠫 㠬 㠭 㠮 㠯 㠰 㠱 㠲 㠳 㠴 㠵 㠶 㠷 㠸 㠹 㠺 㠻 㠼 㠽 㠾 㠿 㡀 㡁 㡂 㡃 㡄 㡅 㡆 㡇 㡈 㡉 㡊 㡋 㡌 㡍 㡎 㡏 㡐 㡑 㡒 㡓 㡔 㡕 㡖 㡗 㡘 㡙 㡚 㡛 㡜 㡝 㡞 㡟 㡠 㡡 㡢 㡣 㡤 㡥 㡦 㡧 㡨 㡩 㡪 㡫 㡬 㡭 㡮 㡯 㡰 㡱 㡲 㡳 㡴 㡵 㡶 㡷 㡸 㡹 㡺 㡻 㡼 㡽 㡾 㡿 㢀 㢁 㢂 㢃 㢄 㢅 㢆 㢇 㢈 㢉 㢊 㢋 㢌 㢍 㢎 㢏 㢐 㢑 㢒 㢓 㢔 㢕 㢖 㢗 㢘 㢙 㢚 㢛 㢜 㢝 㢞 㢟 㢠 㢡 㢢 㢣 㢤 㢥 㢦 㢧 㢨 㢩 㢪 㢫 㢬 㢭 㢮 㢯 㢰 㢱 㢲 㢳 㢴 㢵 㢶 㢷 㢸 㢹 㢺 㢻 㢼 㢽 㢾 㢿 㣀 㣁 㣂 㣃 㣄 㣅 㣆 㣇 㣈 㣉 㣊 㣋 㣌 㣍 㣎 㣏 㣐 㣑 㣒 㣓 㣔 㣕 㣖 㣗 㣘 㣙 㣚 㣛 㣜 㣝 㣞 㣟 㣠 㣡 㣢 㣣 㣤 㣥 㣦 㣧 㣨 㣩 㣪 㣫 㣬 㣭 㣮 㣯 㣰 㣱 㣲 㣳 㣴 㣵 㣶 㣷 㣸 㣹 㣺 㣻 㣼 㣽 㣾 㣿 㤀 㤁 㤂 㤃 㤄 㤅 㤆 㤇 㤈 㤉 㤊 㤋 㤌 㤍 㤎 㤏 㤐 㤑 㤒 㤓 㤔 㤕 㤖 㤗 㤘 㤙 㤚 㤛 㤜 㤝 㤞 㤟 㤠 㤡 㤢 㤣 㤤 㤥 㤦 㤧 㤨 㤩 㤪 㤫 㤬 㤭 㤮 㤯 㤰 㤱 㤲 㤳 㤴 㤵 㤶 㤷 㤸 㤹 㤺 㤻 㤼 㤽 㤾 㤿 㥀 㥁 㥂 㥃 㥄 㥅 㥆 㥇 㥈 㥉 㥊 㥋 㥌 㥍 㥎 㥏 㥐 㥑 㥒 㥓 㥔 㥕 㥖 㥗 㥘 㥙 㥚 㥛 㥜 㥝 㥞 㥟 㥠 㥡 㥢 㥣 㥤 㥥 㥦 㥧 㥨 㥩 㥪 㥫 㥬 㥭 㥮 㥯 㥰 㥱 㥲 㥳 㥴 㥵 㥶 㥷 㥸 㥹 㥺 㥻 㥼 㥽 㥾 㥿 㦀 㦁 㦂 㦃 㦄 㦅 㦆 㦇 㦈 㦉 㦊 㦋 㦌 㦍 㦎 㦏 㦐 㦑 㦒 㦓 㦔 㦕 㦖 㦗 㦘 㦙 㦚 㦛 㦜 㦝 㦞 㦟 㦠 㦡 㦢 㦣 㦤 㦥 㦦 㦧 㦨 㦩 㦪 㦫 㦬 㦭 㦮 㦯 㦰 㦱 㦲 㦳 㦴 㦵 㦶 㦷 㦸 㦹 㦺 㦻 㦼 㦽 㦾 㦿 㧀 㧁 㧂 㧃 㧄 㧅 㧆 㧇 㧈 㧉 㧊 㧋 㧌 㧍 㧎 㧏 㧐 㧑 㧒 㧓 㧔 㧕 㧖 㧗 㧘 㧙 㧚 㧛 㧜 㧝 㧞 㧟 㧠 㧡 㧢 㧣 㧤 㧥 㧦 㧧 㧨 㧩 㧪 㧫 㧬 㧭 㧮 㧯 㧰 㧱 㧲 㧳 㧴 㧵 㧶 㧷 㧸 㧹 㧺 㧻 㧼 㧽 㧾 㧿 㨀 㨁 㨂 㨃 㨄 㨅 㨆 㨇 㨈 㨉 㨊 㨋 㨌 㨍 㨎 㨏 㨐 㨑 㨒 㨓 㨔 㨕 㨖 㨗 㨘 㨙 㨚 㨛 㨜 㨝 㨞 㨟 㨠 㨡 㨢 㨣 㨤 㨥 㨦 㨧 㨨 㨩 㨪 㨫 㨬 㨭 㨮 㨯 㨰 㨱 㨲 㨳 㨴 㨵 㨶 㨷 㨸 㨹 㨺 㨻 㨼 㨽 㨾 㨿 㩀 㩁 㩂 㩃 㩄 㩅 㩆 㩇 㩈 㩉 㩊 㩋 㩌 㩍 㩎 㩏 㩐 㩑 㩒 㩓 㩔 㩕 㩖 㩗 㩘 㩙 㩚 㩛 㩜 㩝 㩞 㩟 㩠 㩡 㩢 㩣 㩤 㩥 㩦 㩧 㩨 㩩 㩪 㩫 㩬 㩭 㩮 㩯 㩰 㩱 㩲 㩳 㩴 㩵 㩶 㩷 㩸 㩹 㩺 㩻 㩼 㩽 㩾 㩿 㪀 㪁 㪂 㪃 㪄 㪅 㪆 㪇 㪈 㪉 㪊 㪋 㪌 㪍 㪎 㪏 㪐 㪑 㪒 㪓 㪔 㪕 㪖 㪗 㪘 㪙 㪚 㪛 㪜 㪝 㪞 㪟 㪠 㪡 㪢 㪣 㪤 㪥 㪦 㪧 㪨 㪩 㪪 㪫 㪬 㪭 㪮 㪯 㪰 㪱 㪲 㪳 㪴 㪵 㪶 㪷 㪸 㪹 㪺 㪻 㪼 㪽 㪾 㪿 㫀 㫁 㫂 㫃 㫄 㫅 㫆 㫇 㫈 㫉 㫊 㫋 㫌 㫍 㫎 㫏 㫐 㫑 㫒 㫓 㫔 㫕 㫖 㫗 㫘 㫙 㫚 㫛 㫜 㫝 㫞 㫟 㫠 㫡 㫢 㫣 㫤 㫥 㫦 㫧 㫨 㫩 㫪 㫫 㫬 㫭 㫮 㫯 㫰 㫱 㫲 㫳 㫴 㫵 㫶 㫷 㫸 㫹 㫺 㫻 㫼 㫽 㫾 㫿 㬀 㬁 㬂 㬃 㬄 㬅 㬆 㬇 㬈 㬉 㬊 㬋 㬌 㬍 㬎 㬏 㬐 㬑 㬒 㬓 㬔 㬕 㬖 㬗 㬘 㬙 㬚 㬛 㬜 㬝 㬞 㬟 㬠 㬡 㬢 㬣 㬤 㬥 㬦 㬧 㬨 㬩 㬪 㬫 㬬 㬭 㬮 㬯 㬰 㬱 㬲 㬳 㬴 㬵 㬶 㬷 㬸 㬹 㬺 㬻 㬼 㬽 㬾 㬿 㭀 㭁 㭂 㭃 㭄 㭅 㭆 㭇 㭈 㭉 㭊 㭋 㭌 㭍 㭎 㭏 㭐 㭑 㭒 㭓 㭔 㭕 㭖 㭗 㭘 㭙 㭚 㭛 㭜 㭝 㭞 㭟 㭠 㭡 㭢 㭣 㭤 㭥 㭦 㭧 㭨 㭩 㭪 㭫 㭬 㭭 㭮 㭯 㭰 㭱 㭲 㭳 㭴 㭵 㭶 㭷 㭸 㭹 㭺 㭻 㭼 㭽 㭾 㭿 㮀 㮁 㮂 㮃 㮄 㮅 㮆 㮇 㮈 㮉 㮊 㮋 㮌 㮍 㮎 㮏 㮐 㮑 㮒 㮓 㮔 㮕 㮖 㮗 㮘 㮙 㮚 㮛 㮜 㮝 㮞 㮟 㮠 㮡 㮢 㮣 㮤 㮥 㮦 㮧 㮨 㮩 㮪 㮫 㮬 㮭 㮮 㮯 㮰 㮱 㮲 㮳 㮴 㮵 㮶 㮷 㮸 㮹 㮺 㮻 㮼 㮽 㮾 㮿 㯀 㯁 㯂 㯃 㯄 㯅 㯆 㯇 㯈 㯉 㯊 㯋 㯌 㯍 㯎 㯏 㯐 㯑 㯒 㯓 㯔 㯕 㯖 㯗 㯘 㯙 㯚 㯛 㯜 㯝 㯞 㯟 㯠 㯡 㯢 㯣 㯤 㯥 㯦 㯧 㯨 㯩 㯪 㯫 㯬 㯭 㯮 㯯 㯰 㯱 㯲 㯳 㯴 㯵 㯶 㯷 㯸 㯹 㯺 㯻 㯼 㯽 㯾 㯿 㰀 㰁 㰂 㰃 㰄 㰅 㰆 㰇 㰈 㰉 㰊 㰋 㰌 㰍 㰎 㰏 㰐 㰑 㰒 㰓 㰔 㰕 㰖 㰗 㰘 㰙 㰚 㰛 㰜 㰝 㰞 㰟 㰠 㰡 㰢 㰣 㰤 㰥 㰦 㰧 㰨 㰩 㰪 㰫 㰬 㰭 㰮 㰯 㰰 㰱 㰲 㰳 㰴 㰵 㰶 㰷 㰸 㰹 㰺 㰻 㰼 㰽 㰾 㰿 㱀 㱁 㱂 㱃 㱄 㱅 㱆 㱇 㱈 㱉 㱊 㱋 㱌 㱍 㱎 㱏 㱐 㱑 㱒 㱓 㱔 㱕 㱖 㱗 㱘 㱙 㱚 㱛 㱜 㱝 㱞 㱟 㱠 㱡 㱢 㱣 㱤 㱥 㱦 㱧 㱨 㱩 㱪 㱫 㱬 㱭 㱮 㱯 㱰 㱱 㱲 㱳 㱴 㱵 㱶 㱷 㱸 㱹 㱺 㱻 㱼 㱽 㱾 㱿 㲀 㲁 㲂 㲃 㲄 㲅 㲆 㲇 㲈 㲉 㲊 㲋 㲌 㲍 㲎 㲏 㲐 㲑 㲒 㲓 㲔 㲕 㲖 㲗 㲘 㲙 㲚 㲛 㲜 㲝 㲞 㲟 㲠 㲡 㲢 㲣 㲤 㲥 㲦 㲧 㲨 㲩 㲪 㲫 㲬 㲭 㲮 㲯 㲰 㲱 㲲 㲳 㲴 㲵 㲶 㲷 㲸 㲹 㲺 㲻 㲼 㲽 㲾 㲿 㳀 㳁 㳂 㳃 㳄 㳅 㳆 㳇 㳈 㳉 㳊 㳋 㳌 㳍 㳎 㳏 㳐 㳑 㳒 㳓 㳔 㳕 㳖 㳗 㳘 㳙 㳚 㳛 㳜 㳝 㳞 㳟 㳠 㳡 㳢 㳣 㳤 㳥 㳦 㳧 㳨 㳩 㳪 㳫 㳬 㳭 㳮 㳯 㳰 㳱 㳲 㳳 㳴 㳵 㳶 㳷 㳸 㳹 㳺 㳻 㳼 㳽 㳾 㳿 㴀 㴁 㴂 㴃 㴄 㴅 㴆 㴇 㴈 㴉 㴊 㴋 㴌 㴍 㴎 㴏 㴐 㴑 㴒 㴓 㴔 㴕 㴖 㴗 㴘 㴙 㴚 㴛 㴜 㴝 㴞 㴟 㴠 㴡 㴢 㴣 㴤 㴥 㴦 㴧 㴨 㴩 㴪 㴫 㴬 㴭 㴮 㴯 㴰 㴱 㴲 㴳 㴴 㴵 㴶 㴷 㴸 㴹 㴺 㴻 㴼 㴽 㴾 㴿 㵀 㵁 㵂 㵃 㵄 㵅 㵆 㵇 㵈 㵉 㵊 㵋 㵌 㵍 㵎 㵏 㵐 㵑 㵒 㵓 㵔 㵕 㵖 㵗 㵘 㵙 㵚 㵛 㵜 㵝 㵞 㵟 㵠 㵡 㵢 㵣 㵤 㵥 㵦 㵧 㵨 㵩 㵪 㵫 㵬 㵭 㵮 㵯 㵰 㵱 㵲 㵳 㵴 㵵 㵶 㵷 㵸 㵹 㵺 㵻 㵼 㵽 㵾 㵿 㶀 㶁 㶂 㶃 㶄 㶅 㶆 㶇 㶈 㶉 㶊 㶋 㶌 㶍 㶎 㶏 㶐 㶑 㶒 㶓 㶔 㶕 㶖 㶗 㶘 㶙 㶚 㶛 㶜 㶝 㶞 㶟 㶠 㶡 㶢 㶣 㶤 㶥 㶦 㶧 㶨 㶩 㶪 㶫 㶬 㶭 㶮 㶯 㶰 㶱 㶲 㶳 㶴 㶵 㶶 㶷 㶸 㶹 㶺 㶻 㶼 㶽 㶾 㶿 㷀 㷁 㷂 㷃 㷄 㷅 㷆 㷇 㷈 㷉 㷊 㷋 㷌 㷍 㷎 㷏 㷐 㷑 㷒 㷓 㷔 㷕 㷖 㷗 㷘 㷙 㷚 㷛 㷜 㷝 㷞 㷟 㷠 㷡 㷢 㷣 㷤 㷥 㷦 㷧 㷨 㷩 㷪 㷫 㷬 㷭 㷮 㷯 㷰 㷱 㷲 㷳 㷴 㷵 㷶 㷷 㷸 㷹 㷺 㷻 㷼 㷽 㷾 㷿 㸀 㸁 㸂 㸃 㸄 㸅 㸆 㸇 㸈 㸉 㸊 㸋 㸌 㸍 㸎 㸏 㸐 㸑 㸒 㸓 㸔 㸕 㸖 㸗 㸘 㸙 㸚 㸛 㸜 㸝 㸞 㸟 㸠 㸡 㸢 㸣 㸤 㸥 㸦 㸧 㸨 㸩 㸪 㸫 㸬 㸭 㸮 㸯 㸰 㸱 㸲 㸳 㸴 㸵 㸶 㸷 㸸 㸹 㸺 㸻 㸼 㸽 㸾 㸿 㹀 㹁 㹂 㹃 㹄 㹅 㹆 㹇 㹈 㹉 㹊 㹋 㹌 㹍 㹎 㹏 㹐 㹑 㹒 㹓 㹔 㹕 㹖 㹗 㹘 㹙 㹚 㹛 㹜 㹝 㹞 㹟 㹠 㹡 㹢 㹣 㹤 㹥 㹦 㹧 㹨 㹩 㹪 㹫 㹬 㹭 㹮 㹯 㹰 㹱 㹲 㹳 㹴 㹵 㹶 㹷 㹸 㹹 㹺 㹻 㹼 㹽 㹾 㹿 㺀 㺁 㺂 㺃 㺄 㺅 㺆 㺇 㺈 㺉 㺊 㺋 㺌 㺍 㺎 㺏 㺐 㺑 㺒 㺓 㺔 㺕 㺖 㺗 㺘 㺙 㺚 㺛 㺜 㺝 㺞 㺟 㺠 㺡 㺢 㺣 㺤 㺥 㺦 㺧 㺨 㺩 㺪 㺫 㺬 㺭 㺮 㺯 㺰 㺱 㺲 㺳 㺴 㺵 㺶 㺷 㺸 㺹 㺺 㺻 㺼 㺽 㺾 㺿 㻀 㻁 㻂 㻃 㻄 㻅 㻆 㻇 㻈 㻉 㻊 㻋 㻌 㻍 㻎 㻏 㻐 㻑 㻒 㻓 㻔 㻕 㻖 㻗 㻘 㻙 㻚 㻛 㻜 㻝 㻞 㻟 㻠 㻡 㻢 㻣 㻤 㻥 㻦 㻧 㻨 㻩 㻪 㻫 㻬 㻭 㻮 㻯 㻰 㻱 㻲 㻳 㻴 㻵 㻶 㻷 㻸 㻹 㻺 㻻 㻼 㻽 㻾 㻿 㼀 㼁 㼂 㼃 㼄 㼅 㼆 㼇 㼈 㼉 㼊 㼋 㼌 㼍 㼎 㼏 㼐 㼑 㼒 㼓 㼔 㼕 㼖 㼗 㼘 㼙 㼚 㼛 㼜 㼝 㼞 㼟 㼠 㼡 㼢 㼣 㼤 㼥 㼦 㼧 㼨 㼩 㼪 㼫 㼬 㼭 㼮 㼯 㼰 㼱 㼲 㼳 㼴 㼵 㼶 㼷 㼸 㼹 㼺 㼻 㼼 㼽 㼾 㼿 㽀 㽁 㽂 㽃 㽄 㽅 㽆 㽇 㽈 㽉

### 事業計画には合意があるものの議論がすすまない。

2/14 関係機関はさまざまな目的や目的の達成の優先順位は必要です。

関係機関の目的は異なる。事業計画の目的は関係機関の目的と一致しない。事業計画の目的は関係機関の目的と一致しない。事業計画の目的は関係機関の目的と一致しない。

### 成果1 話し合われた地域の問題点（課題）

話し合われた地域の問題点（課題）

### 成果2 採用目標したい書

採用目標したい書

### 今後について

今後について

## ポストMBAプログラム取り組み事例2

### 離別・別居家庭の「子の監護」に関する総合的支援事業 小笠原 由子

平成23年改正民法（第766条）では、**面会交遊及び養育費の分類**が新設され、**親と子**の**子の監護**について必要な事項を定めることによりは**子の利益**を最も優先して考慮しなければならない旨が明記された。

#### 養育費と面会交遊の現状

● 養育費	
受取率	25.2%
届が請求されていない	47.3%
● 面会交遊	
実施率	30.0%
届が請求されていない	48.9%

#### 課題

課題

#### 事業目的と今年度の活動

事業目的と今年度の活動

### 活動報告①

#### シンポジウム「教育者と社会文化」開催 参加者：81名



### 活動報告② シンポジウム開催

日時：2019年11月13日（水）14:00～17:00  
 会場：NPO法人「こころの未来を応援」会 会議室（東京都中央区本町2-1-1）  
 参加者：20名（うち外国人参加者10名）  
 司会：山本 浩一  
 進行：山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一  
 報告者：山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一  
 報告内容：山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一

### 活動報告③ アンケート結果

調査対象者：参加者

項目	回答数	割合
Q1. 参加の目的	10	50%
Q2. 参加の満足度	10	50%
Q3. 参加の満足度	10	50%
Q4. 参加の満足度	10	50%
Q5. 参加の満足度	10	50%
Q6. 参加の満足度	10	50%
Q7. 参加の満足度	10	50%
Q8. 参加の満足度	10	50%
Q9. 参加の満足度	10	50%
Q10. 参加の満足度	10	50%

### 活動報告④ アンケート結果

調査対象者：参加者

項目	回答数	割合
Q1. 参加の目的	10	50%
Q2. 参加の満足度	10	50%
Q3. 参加の満足度	10	50%
Q4. 参加の満足度	10	50%
Q5. 参加の満足度	10	50%
Q6. 参加の満足度	10	50%
Q7. 参加の満足度	10	50%
Q8. 参加の満足度	10	50%
Q9. 参加の満足度	10	50%
Q10. 参加の満足度	10	50%

### 活動報告⑤

#### 日本弁護士連合会主催「国際法制シンポジウム 「子の福祉のための司法交流」参加

日時：2019年11月13日（水）14:00～17:00  
 会場：NPO法人「こころの未来を応援」会 会議室（東京都中央区本町2-1-1）  
 参加者：20名（うち外国人参加者10名）  
 司会：山本 浩一  
 進行：山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一  
 報告者：山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一  
 報告内容：山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一、山本 浩一

### 事業の成果

・国際法制シンポジウム「子の福祉のための司法交流」を開催し、参加者から多くの反響を得た。  
 ・シンポジウム終了後、参加者から多くの問い合わせが寄せられた。  
 ・シンポジウム終了後、参加者から多くの問い合わせが寄せられた。  
 ・シンポジウム終了後、参加者から多くの問い合わせが寄せられた。  
 ・シンポジウム終了後、参加者から多くの問い合わせが寄せられた。

### 今後の活動計画

・シンポジウム「子の福祉のための司法交流」を開催し、参加者から多くの反響を得た。  
 ・シンポジウム終了後、参加者から多くの問い合わせが寄せられた。  
 ・シンポジウム終了後、参加者から多くの問い合わせが寄せられた。  
 ・シンポジウム終了後、参加者から多くの問い合わせが寄せられた。  
 ・シンポジウム終了後、参加者から多くの問い合わせが寄せられた。

### 今後の活動予定

・弁護士・調停委員による無料相談会の実施（毎月）  
 ・福祉事務所でのシンポジウム開催（2019年1月）  
 ・国内及び海外・教育機関への配布

## 国際ビジネス研修プログラム

【目的】国際的な視野で地方創生を進めることができる経営人材の育成

【必要性】地域企業の海外進出やインバウンド観光への対応など、地域活性化にも国際的視野で取り組む必要性が高まっている。

【事業内容】イタリアのフィレンツェ・ミラノにおいて、フィレンツェ大学・ミラノ大学の協力の下、国際ビジネス研修プログラムを開発し、試験的に実施し、次年度以降の本実施に向けた準備・検討を行う。

【期待される効果】イタリアは観光産業・伝統文化産業での中小企業の付加価値型の取組みや、地域のビジネス環境、ソーシャルビジネスに注目すべき先進事例が多く、また香川の企業で国際進出の成功例がある。イタリアでの現場経験をベースに、国際的視野で地域活性化に取り組むことができる人材、地域企業の国際展開を成功させるとができる人材を育成し、地方創生に貢献することが期待される。

### 国際ビジネス研修プログラム 最終報告

本プログラムは、地域企業の海外進出やインバウンド観光への対応など、地域活性化にも国際的視野で取り組む必要性が高まっている。イタリアのフィレンツェ・ミラノにおいて、フィレンツェ大学・ミラノ大学の協力の下、国際ビジネス研修プログラムを開発し、試験的に実施し、次年度以降の本実施に向けた準備・検討を行う。

イタリアは観光産業・伝統文化産業での中小企業の付加価値型の取組みや、地域のビジネス環境、ソーシャルビジネスに注目すべき先進事例が多く、また香川の企業で国際進出の成功例がある。イタリアでの現場経験をベースに、国際的視野で地域活性化に取り組むことができる人材、地域企業の国際展開を成功させるとができる人材を育成し、地方創生に貢献することが期待される。

本プログラムは、地域企業の海外進出やインバウンド観光への対応など、地域活性化にも国際的視野で取り組む必要性が高まっている。イタリアのフィレンツェ・ミラノにおいて、フィレンツェ大学・ミラノ大学の協力の下、国際ビジネス研修プログラムを開発し、試験的に実施し、次年度以降の本実施に向けた準備・検討を行う。

イタリアは観光産業・伝統文化産業での中小企業の付加価値型の取組みや、地域のビジネス環境、ソーシャルビジネスに注目すべき先進事例が多く、また香川の企業で国際進出の成功例がある。イタリアでの現場経験をベースに、国際的視野で地域活性化に取り組むことができる人材、地域企業の国際展開を成功させるとができる人材を育成し、地方創生に貢献することが期待される。

本プログラムは、地域企業の海外進出やインバウンド観光への対応など、地域活性化にも国際的視野で取り組む必要性が高まっている。イタリアのフィレンツェ・ミラノにおいて、フィレンツェ大学・ミラノ大学の協力の下、国際ビジネス研修プログラムを開発し、試験的に実施し、次年度以降の本実施に向けた準備・検討を行う。

イタリアは観光産業・伝統文化産業での中小企業の付加価値型の取組みや、地域のビジネス環境、ソーシャルビジネスに注目すべき先進事例が多く、また香川の企業で国際進出の成功例がある。イタリアでの現場経験をベースに、国際的視野で地域活性化に取り組むことができる人材、地域企業の国際展開を成功させるとができる人材を育成し、地方創生に貢献することが期待される。

本プログラムは、地域企業の海外進出やインバウンド観光への対応など、地域活性化にも国際的視野で取り組む必要性が高まっている。イタリアのフィレンツェ・ミラノにおいて、フィレンツェ大学・ミラノ大学の協力の下、国際ビジネス研修プログラムを開発し、試験的に実施し、次年度以降の本実施に向けた準備・検討を行う。

イタリアは観光産業・伝統文化産業での中小企業の付加価値型の取組みや、地域のビジネス環境、ソーシャルビジネスに注目すべき先進事例が多く、また香川の企業で国際進出の成功例がある。イタリアでの現場経験をベースに、国際的視野で地域活性化に取り組むことができる人材、地域企業の国際展開を成功させるとができる人材を育成し、地方創生に貢献することが期待される。